

I. 価値創出・課題解決プロジェクト

※事業名左側の番号は、
中期計画「挑戦都市 やってみなはれ! 大阪プラン」の事業番号に対応
※2025年度からの新たな取り組みは下線で記載
※各事業を所管する部会・委員会名を記載

凡例：  中期計画
事業番号

 委員会名
 部会名

1. ものづくり×イノベーションプロジェクト

※評価指標の数値は2024年12月末時点

① 次世代テックフォーラムの運営

情報・通信

デジタル変革

目的 デジタル技術等の次世代技術を活用した、既存産業の高度化や新規ビジネスの開発支援

主な取り組み		進捗・計画
2023年度	- 次世代テックフォーラムの立ち上げ、運営 - 例会の開催(最新情報の提供等) 「大阪ヘルスケアパビリオン」出展準備	【実績】 - フォーラムを立ち上げ、「AI」「モビリティ」「新エネルギー」の3つの分科会(クラスター)を設置 - 全体で5回の例会と2回の特別見学会を開催し、最新技術の動向や活用事例について情報提供 - クラスター間の連携を検討するトータルコーディネート会議を開催 - 大阪ヘルスケアパビリオンリボーンチャレンジ「Series A:セレクション」への出展企業を募り、46社の応募から10社を選出
2024年度	- フォーラムの拡充(テーマの増加等) - ビジネスマッチングの実施	【実績】 「宇宙ビジネス」「Neoマテリアル」の分科会(クラスター)を新たに立ち上げ - 全体で12回の例会と5回の特別見学会を開催 - 情報提供に加え、新ビジネス創出にむけ、関心企業でチームを組成するためのマッチング会も実施 【気付き・課題】 - 最先端技術の情報提供や事例紹介に加え、参加企業同士のマッチングや実際の製品・サービスを体験するプログラムへのニーズが高い  ▲マッチングニーズの発表等を実施
2025年度	- 関心企業が集うワーキンググループの組成、ビジネス開発支援 「大阪ヘルスケアパビリオン」出展	【内容】 「AI」「モビリティ」「新エネルギー」「宇宙ビジネス」「Neoマテリアル」に加え、中小企業の参画も見込まれる「<u>防衛・防災</u>」分科会(クラスター)を新たに立ち上げる - クラスターの開催と、複数クラスター間でのビジネス創出のための「トータルコーディネート会議」の開催 - 大阪ヘルスケアパビリオン リボーンチャレンジの開催(展示) 【スケジュール】 - 通年 8月12日～18日：リボーンチャレンジ出展「Series A:セレクション ～輝く未来社会の創り手ここにあり～」

評価指標	2023	2024
クラスター参加企業	54社	77社
マッチング件数	-	16件

1. ものづくり×イノベーションプロジェクト

※評価指標の数値は2024年12月末時点

②メタバースビジネス創出プラットフォームの運営

情報・通信

デジタル変革

目的 中小企業等におけるメタバースを活用したビジネス創出支援

主な取り組み		進捗・計画
2023年度	・メタバースビジネス創出プラットフォームの立ち上げ、運営	【実績】 ・プラットフォームを設置 ・例会を開催し、メタバースビジネスの先進事例紹介や展示に加え、協業に向けた関心企業のマッチングを実施 ・近畿経済産業局と連携し、XR関連企業28社のビジネスマッチングを目的とした体験型イベントを開催
2024年度	・先進事例発表、個別マッチング	【実績】 ・例会を2回開催し、先進情報の提供や各社の事例を紹介 ・メタバースプラットフォーム提供企業と連携し、メタバース空間を実際に構築するワークショップを実施 ・最新のXRソリューションの体験機会や、ビジネスマッチングの機会を提供 【気付き・課題】 ・参加企業の多くが情報収集のフェーズであり、また製造業、医療、サービスなど様々な業種が参加するため、引き続き業種ごとの具体的な活用方法の提示が必要  ▲例会を2回開催
2025年度	・ビジネス化支援 ・大阪関西万博(バーチャル万博等)との連携	【内容】 ・メタバースビジネスの具体化に向け、米国で開催されるAX(アニメエキスポ)へのコンテンツ出展を支援 ・ビジネスマッチング会の開催 【スケジュール】 ・通年で実施(例会は1回開催) ・25年7月 AX(アニメエキスポ)@米国

評価指標	2023	2024
参加企業数	70社	19社
マッチング件数	7件	(第4回例会で実施)

1. ものづくり×イノベーションプロジェクト

※評価指標の数値は2024年12月末時点

③ SDGs/ESGプラットフォームの運営

国際ビジネス

産業・スタートアップ

目的 中小企業等のSDGs/ESGに資する企業活動の促進 / グリーンイノベーションの推進支援

主な取り組み		進捗・計画
2023年度	- SDGs/ESGやグリーンイノベーション推進に関する最新情報の提供 「CO2排出量の見える化」等、コンサルティングサービスの実施 - グリーンイノベーション関連技術の橋渡しマッチングや商談会等の開催	【実績】 - 名古屋商工会議所と連携し「グリーンテックマッチング会」を開催したほか、展示商談会「カーボンニュートラル(CN)・チャレンジフェア」「SDGsカフェ」等を実施。大商会員対象に脱炭素アンケート調査を実施 - 英国のマンチェスター大学やタイ企業とのマッチング会を実施
2024年度	- SDGs/ESGやグリーンイノベーション推進に関する最新情報の提供 「CO2排出量の見える化」等、コンサルティングサービスの実施 - グリーンイノベーション関連技術の橋渡しマッチングや商談会等の開催	【実績】 - 東京・名古屋商工会議所と連携し「グリーンテックマッチング会」を開催したほか、展示商談会「CN・チャレンジフェア」「SDGsカフェ」等を実施 - 全国の商工会議所を対象に日商と共催でCN研修を実施 【気付き・課題】 - サプライチェーンの中でCNへの取り組みを要請される機会が増え、脱炭素経営への関心や対応は、大企業から中堅・中小企業へと広がっている  ▲SDGsカフェ2024
2025年度	- コンサルティングメニューの充実 - グリーン関連マッチングの拡大 - 大阪関西万博とコラボした取り組み展開	【内容】 - コンサルティングサービスとして、「CFP(カーボンフットプリント)」や「中小企業版 SBT(Science Based Targets)」に力点をおく - 日商/経産省/環境省と連携し、全国での展開を模索 - グリーンテックマッチング、CNチャレンジフェア、SDGsカフェなどの実施 - 万博「Team EXPO」活動として、脱炭素経営に取り組む中小企業をテレビ番組で放映 【スケジュール】 - 通年。CNチャレンジフェアとSDGsカフェは大阪勧業展と同時開催(12月) - Team EXPO (MBS、吉本興業との共同チーム)の活動は、万博終了まで

評価指標	2023	2024
SDGs/ESGプラットフォーム登録企業数	1,399社	1,509社
参加企業数	792社	533社
コンサルティング利用企業数	6社	4社
マッチング件数	19件	37件

1. ものづくり×イノベーションプロジェクト

※評価指標の数値は2024年12月末時点

④ グローバル・イノベーションフォーラムの運営

国際ビジネス

目的 海外スタートアップと大阪・関西企業の連携によるビジネス創出

主な取り組み		進捗・計画
2023年度	- グローバルイノベーションフォーラムの実施 - 国内スタートアップの海外展開支援	【実績】 - 地域別(欧州・中東、北米・ラテンアメリカ、アセアン)に3回、オンラインによるピッチ・商談会を開催 - CES(米国)に共同出展をブースを設け、国内スタートアップの海外展開を支援
2024年度	グローバル・イノベーションフォーラム(GIF)の内容拡充	【実績】 - 海外スタートアップと日本企業をマッチングする「GIFミートアップ」は、タイ編(17人)、オーストラリア編(47人)、台湾編(57人)、英国編(22人)、米国編(45人)、アセアン編(47人)を開催。 - 国内スタートアップの海外展開を支援する「GIFチャレンジ」は、7月のタイ・バンコクの展示会「SITE2024」や、1月の米国・世界最大規模展示会「CES」等、海外展示会への出展支援を実施 【気付き・課題】 - 多くの日本企業が優秀なスタートアップを探すなか、「GIFミートアップ」を通じて、海外のスタートアップや投資先を知る機会になっている - 万博開催時に、各国からイノベーションや協業の提案、商談ニーズが寄せられる見込み
2025年度	大阪関西万博との連携	【内容】 「GIFミートアップ」：海外スタートアップの万博来阪時をとらえ、ピッチイベントとマッチング会を開催。国内企業との連携を促進し、ビジネス創出を支援 「GIFチャレンジ」：米国展示会CESへの共同出展等により国際連携を支援 【スケジュール】 4～10月：海外スタートアップの来阪にあわせてピッチイベント(GIFミートアップ)を随時開催 11月～3月：オンライン・オフラインの両方法にてピッチイベントを随時開催 1月：米国・世界最大規模展示会「CES」JAPAN TECHへの共同出展

評価指標	2023	2024
GIFミートアップ 参加者数	232人	235人
GIFチャレンジ 参加企業数	22社	31社

1. ものづくり×イノベーションプロジェクト

※評価指標の数値は2024年12月末時点

⑤ スタートアップ支援事業の推進

産業・スタートアップ

目的 地域間の連携によるスタートアップの市場開拓支援 /
新たな技術・ソリューションを有するスタートアップと既存企業の連携によるイノベーション創出支援

	主な取り組み	進捗・計画
2023年度	- 広域連携によるスタートアップ支援事業 - 大学発スタートアップ事業展開支援「U-START UP」ピッチイベントの実施(年1回)	【実績】 - 東京、名古屋、京都、神戸、福岡、札幌、仙台、広島、愛媛等全国9都市と連携し、各都市間のスタートアップと中小企業のマッチング会を開催 - ピッチコンテストには36社から応募があり、6社を表彰
2024年度	連携地域、連携機関等の拡充	【実績】 - 新たに北陸と連携し、マッチング会を開催 - U-START UP KANSAIには過去最多の75件の応募 - 共創パートナーとのビジネスマッチングも新たに実施 - 国によるスタートアップ支援イベント「Global Startup EXPO 2025」の連携イベントとして、国内外のスタートアップが開発中の製品やサービスを、大阪のまちなかで披露するイベント「Doco Demo Festival OSAKA(DD Fes)」を新たに開催 ▲U-START UP KANSAIファイナリスト 【気付き・課題】 - 大阪には、実力あるスタートアップが多く存在することを広く発信することが必要 - 政府による「グローバルスタートアップ拠点都市」再指定に向け、スタートアップのグローバル展開支援の強化が求められる - 万博で披露されたスタートアップ技術の社会実装を支援するプログラムが必要
2025年度	- 全国のスタートアップと中小企業のマッチング - 大阪関西万博催事(政府イベント)との連携 - その他、各種スタートアップ支援事業の実施	【内容】 「DD Fes」と「U-START UP KANSAI」を継続して開催 - グローバル展開支援として、スタートアップとともにインドを訪問し、商談会や企業マッチングを実施 - 全国会議所との広域連携スタートアップ支援事業「コロンブス」の継続実施 【スケジュール】 - コロンブス：通年 - U-STARTUP：5～1月 - DD Fes、スタートアップミッションの派遣：時期未定

評価指標	2023	2024
参加企業数	1,462社	821社
マッチング件数	92件	140件

1. ものづくり×イノベーションプロジェクト

※評価指標の数値は2024年12月末時点

⑥ 町工場ネットワークの拡充

企業成長支援

目的

大阪の金属加工・機械製造業の地域ブランド向上と受注拡大、独自製品の開発 / 町工場とスタートアップによるオープンイノベーションの促進 / 万博を生かした大阪のものづくりのポテンシャル発信

	主な取り組み	進捗・計画
2023年度	- 参加企業による情報交換会の開催 - 独自製品の開発勉強会の開催 「大阪ヘルスケアパビリオン」出展準備 - スタートアップ等の試作案件の募集、相談、試作支援等	【実績】 「ものづくり加工ネットワーク強化交流会」を各支部や大阪信用金庫、区役所、オープンイノベーション拠点「Garage Minato」「Garage Taisho」と連携して開催(4回) 2025年大阪・関西万博の大阪ヘルスケアパビリオンの出展企業を大阪信用金庫とともに募集し、リボンチャレンジ交流会(上記を含む11回)で企業間連携を促進
2024年度	- 情報交換会、勉強会の開催 - 試作支援の拡充	【実績】 19グループ・74社の出展が決定し、出展準備交流会を4回開催 「ものづくり加工ネットワーク強化交流会」を西支部と南支部で大阪信用金庫、区役所、オープンイノベーション拠点「Garage Minato」「Garage Taisho」と連携して開催 【気付き・課題】 - ユニバーサルデザインなど、万博ならではの要求への対応を通じ出展企業がレベルアップできる - メディアに取り上げられることで、出展企業のモチベーションアップにつながる
2025年度	- リボンチャレンジ出展 - ものづくり加工ネットワーク強化交流会の開催	【内容】 - リボンチャレンジへの19グループの出展に向けた準備 - リボンチャレンジを経て生まれた他社との連携による開発経験を、これから自社事業の強みとして定着させられるよう、<u>交流機会を設定</u> - 機械・金属加工の町工場による「顔の見える加工ネットワーク」づくりを促す交流会の開催 【スケジュール】 10月7日～13日：リボンチャレンジ出展「身近な課題や世界のお困りごとを大阪の町工場が解決します！」 - 通年：ものづくり加工ネットワーク強化交流会(2回)

評価指標	2023	2024
参加企業数	352者	234者

1. ものづくり×イノベーションプロジェクト

※評価指標の数値は2024年12月末時点

⑦ MoTTto OSAKAオープンイノベーションフォーラムの運営

産業・スタートアップ

目的 技術探索を支援するオープンイノベーション支援事業を通じた新技術・製品開発、新ビジネスの創出

主な取り組み		進捗・計画
2023年度	- MoTTto OSAKA オープンイノベーションフォーラムの運営 - オープンイノベーションリンクとの連携	【実績】 - 大阪ガス(株)、LG Japan Lab(株)、パナソニックグループ、ファーウェイ・ジャパン社が技術ニーズを発表 - KAHMジャパン(株)、理研鼎業(株)、近畿大、中部電力(株)、三洋化成工業(株)、サンノプロ(株)が技術シーズを発表 - 技術提案力向上セミナー、経済安全保障セミナーを実施
2024年度	フォーラムの運営(大企業の参加拡充)	【実績】 - 大阪ガス(株)、(株)椿本チエイン、ローム(株)が技術ニーズを発表 (株)リコー、(株)Thinker、ネクスファイ・テクノロジー(株)、産業技術総合研究所、三菱ケミカル(株)が技術シーズを発表 - 海外スタートアップ(Flyability SA、Kraftblock GmbH)からの技術シーズを発表する海外シーズマッチング会を初開催 - オープンイノベーション促進セミナー、技術提案力向上セミナーを実施 ▲技術ニーズ説明会 【気付き・課題】 - 中堅・中小企業から提案しやすいよう、大企業の技術ニーズ、求める技術などを一覧でわかりやすい書式に変更 - 中堅・中小企業の参加を促進するため、新たに京都、吹田、龍野の商工会議所が参画 - 新たなニーズ、シーズ開示企業の探索が必要
2025年度	フォーラムの運営(マッチング規模の拡充)	【内容】 - フォーラムの継続開催(ニーズ主導型、シーズ提案型および提案書作成指南セミナー等) - 府外企業や海外企業等に、技術ニーズ開示企業としての参加を積極的に呼びかける 【スケジュール】 - 通年。技術ニーズ説明会2回、技術シーズ発表会2回、セミナー1回以上



▲技術ニーズ説明会

評価指標	2023	2024
参加企業数	219社	471社
マッチング件数	32件	42件

1. ものづくり×イノベーションプロジェクト

※評価指標の数値は2024年12月末時点

⑧ 繊維・アパレル産業のイノベーション促進

繊維

目的 業界内外の連携や産学連携の促進による、ファッション産業の振興

主な取り組み		進捗・計画
2023年度	「大阪ファッション産業振興フォーラム」の開催 「ファッション・イノベーション展」の開催 「大阪ヘルスケアパビリオン」出展準備	【実績】 - 展示商談会「ファッション・イノベーション展」を開催 - 出展希望企業によるプレゼン交流会を開催、グループを組成し展示テーマ等を検討。17社が出展
2024年度	「大阪ファッション産業振興フォーラム」の開催 「ファッション・イノベーション展～チラミエEXPO」を通じた業界内外との連携促進 「大阪ヘルスケアパビリオン」中小企業・スタートアップ展示ゾーンの運営準備 - 各テーマにおける出展企画準備	【実績】 - 繊維関連素材調達商談会をテスト実施 「カーボンフットプリント」セミナー開催 「従業員のやる気を引き出し、働きがいを高める職場づくり」セミナー開催 「国際認証」プレゼン&交流会開催 「ファッション・イノベーション展～チラミエEXPO」開催 - リボンチャレンジ出展企業による準備状況共有会 「チェンジ！ファッションワーキング」を4回開催。出展企業による展示内容の検討を支援 ▲チェンジ！ファッション ワーキング  【気付き・課題】 - 分業体制を担う中小企業の廃業が増え、素材や服飾資材のサプライチェーン再構築が求められるなか、関連素材の商談事業に可能性が感じられた - 欧州向け輸出等を中心に、「国際認証」取得ニーズは今後一層高まる - 万博に出展する展示物制作を通して、出展企業間の連携や共創が深まった
2025年度	「大阪ファッション産業振興フォーラム」の開催 「繊維・ファッション買い付け商談会」(仮称)の開催(新規) 「大阪ヘルスケアパビリオン」出展	【内容】 - 新たに「繊維・ファッション買い付け商談会」(仮称)を2回開催 「大阪ファッション産業振興フォーラム」の情報提供セミナー3回、プレゼン交流会1回を開催 - 万博出展に向けた最終準備を進める 【スケジュール】 - 通年 9月23日～29日：リボンチャレンジ出展「サステナブルに基づく繊維・ファッション産業の未来共創プロジェクト」

評価指標	2023	2024
参加企業・団体数	459社・団体	590社・団体
マッチング件数	94件	106件

2. ウェルネスビジネス創出プロジェクト

※評価指標の数値は2024年12月末時点

⑨ 創薬支援プラットフォームの運営

ライフサイエンス

目的

製薬企業と、創薬シーズや関連技術を保有する大学・研究機関等との
マッチング促進による創薬支援を通じた、革新的医薬品の持続的な創出推進

	主な取り組み	進捗・計画
2023年度	・面談マッチング会(D-Bio)	【実績】 全国の研究機関やベンチャー等から創薬案件を募集し、案件と製薬企業とをマッチングする「DSANJ Digital Bio Conference(D-Bio Digital)」を2回開催
2024年度	・面談マッチング会(D-Bio)	【実績】 「DSANJ Digital Bio Conference」をウェブ上で5日間開催。製薬企業38社が参加し、全国の研究機関やベンチャー等の創薬案件66件に対して、273件の面談を実施 「DSANJ Digital Bio Conference」をウェブ上で6日間開催。製薬企業39社が参加し、創薬案件71件の応募に対して、235件の面談を実施 【気付き・課題】 - 製薬企業のDSANJへの参加意欲は高い - 海外案件の探索に対する関心が高い
2025年度	・創薬シーズ・基盤技術アライアンスネットワーク(DSANJ)の拡充	【内容】 「DSANJ Bio Conference」を2回開催。製薬企業40社超が参加見込 - 参加製薬企業の案件ニーズや運営方法改善に関わるヒアリング等を実施 - 製薬企業のニーズが高い海外案件も対象に含める仕組みを検討・推進 【スケジュール】 10月、2月：「DSANJ Bio Conference」開催



▲DSANJ事業の概要

評価指標	2023	2024
参加企業数	42社	39社
商談件数	666件	508件

2. ウェルネスビジネス創出プロジェクト

※評価指標の数値は2024年12月末時点

⑩ 医療機器ビジネス支援プラットフォームの運営

ライフサイエンス

目的

医療現場等の課題やニーズと医療機器メーカーやものづくり企業とのマッチングによる医療機器・用品、関連設備、施設等の開発促進 / 中小企業等の医療機器分野への新規参入や事業化支援

主な取り組み		進捗・計画
2023年度	- 産学医マッチング例会の実施 - 事業化相談、コンサルタント派遣事業 - 医療機器開発支援セミナー、逆見本市等 - デジタルヘルスセミナーの開催 - 医療従事者によるユーザー評価事業 - 途上国市場開拓マッチング会の実施	【実績】 - 医療現場のニーズを発表し、企業とのマッチングを行う「医工連携マッチング例会」を8回開催 「デジタル医療」「再生医療」「看護・在宅医療」「介護・福祉」の分科会における情報提供や産学連携、逆見本市等による企業間連携、医療従事者による製品・サービス評価事業等の支援を実施
2024年度	医療現場等の課題やニーズ収集等の拡充	【実績】 - 医工連携マッチング例会を8回開催。全国の医療現場から41件の多様なニーズ提案があり全件マッチング見込み。マッチング後のビジネス化支援を拡充し、中堅・中核企業8社を伴走支援。AMED事業での支援を通じて国の競争的資金に申請10件中採択5件。各分科会、新規参入セミナー、イノベーションカフェ、ユーザー評価、逆見本市、病院見学会、展示会共同出展などを実施 【気付き・課題】 - 医療現場のニーズを収集する医療機関を8組織増やし、より多様なニーズが集まることで、幅広い業種の企業参加につながった
2025年度	事業化支援の拡充	【内容】 - 医工連携マッチング例会を開催し、企業とのマッチングを行うとともに、事業化に関するコンサルティングを強化 - そのため、<u>国内外の医療機器分野の事業化支援に知見を持つ支援人財をネットワーク化し、海外展開、国内市場開拓双方を支援</u> 「医療機器相談事業」の対象を全国の企業に広げ、幅広い相談内容に対応 【スケジュール】 4月頃～：事業化コンサルティング(予定) 7月頃～：医工連携マッチング例会(年間7回)

評価指標	2023	2024
参加企業数	1,748社	1,630社
マッチング件数	45件	35件
個別事業化相談数	528件	392件
事業化件数	4件	2件

2. ウェルネスビジネス創出プロジェクト

※評価指標の数値は2024年12月末時点

⑫ スポーツ産業の振興

ライフサイエンス

スポーツ産業

目的

スポーツを核とした幅広い産業分野を組み合わせた新ビジネスの創出・拡大 / 多様な企業のスポーツ分野への参入や新規ビジネス立ち上げの促進

主な取り組み		進捗・計画
2023年度	- マッチング例会の開催 - ワークショップの開催 - Ex-Cross の実施、プロジェクトの実証支援 - 大阪公立大学 森之宮キャンパスにおけるリビングラボ実証プロジェクトの企画検討 - アスリートによるヘルスケアビジネスの実証	【実績】 「スポーツハブKANSAI」ビジネスマッチング例会を1回開催 - てんしば(天王寺公園)でEx-Crossを開催し、40,289人が来場
2024年度	- アスリートで検証したヘルスケアビジネスの一般化に向けた検討 - うめきたでの「Ex-Cross」やマッチング事業の実施	【実績】 - ビジネスマッチング例会を開催し110社が参加し、31件の個別ミーティングを実施 「アスリート・元アスリートのセカンドキャリア支援事業」を試行し、大阪エリアでの就職意欲をもつ11人のアスリートと、人材を探索する11社が参加。大手企業から中小企業、SUまで幅広い企業が参加 - 参加者のうち1人が2社から内定を獲得。4人が継続して交渉中(2024年10月時点) 【気付き・課題】 - 大企業からスタートアップまで幅広い企業がアスリートの強みを理解し、採用に関心があることがわかった。アスリートの参加人数を増やし、企業とのマッチング成果を上げる工夫が必要
2025年度	- ヘルスケアビジネスの一般展開に向けた支援事業の実施 - 大阪公立大学森之宮キャンパスにおけるリビングラボ、実証プロジェクトの開始	【内容】 - アスリートと企業との人材マッチングイベントの拡充 - スポーツチームやスポーツ関連企業との連携による新ビジネス創出のためのマッチング事業も実施 【スケジュール】 - 前半：大阪スマートヘルスプロジェクト実証事業 - 後半：スポーツ関連人材マッチング、新ビジネス創出マッチング事業



▲アスリート就職フェア

評価指標	2023	2024
参加企業数	780社	750社
マッチング件数	26件	31件+63件(人材マッチング)
事業化支援件数	15件	15件+6件(人材マッチング)
事業化件数	8件	5件+2件(人材マッチング)

2. ウェルネスビジネス創出プロジェクト

※評価指標の数値は2024年12月末時点

⑬ 融合領域の拡大による新ビジネス創出支援

⑭ 「未来の医療」の推進

ライフサイエンス

スポーツ産業

目的 未来社会に求められるWell-beingや環境に配慮した、医療機器や設備、システム等の開発支援 / ものづくりやデジタル等、異業種の医療分野への新規参入促進

主な取り組み		進捗・計画
2023年度	・大阪医療センターとの連携プロジェクト開始	【実績】 - 新たに「優しい病院」「救命救急医療」「災害医療」をテーマに共創カンファレンスを開催、災害レジリエントな街・社会づくりを目指す「災害食を中心とした新産業創出共創コミュニティ」を設置 「次世代医療システム産業化フォーラム(MDF)」例会で「優しい病院」に関する医療現場ニーズ12件を提示し、関心企業とマッチングを行った
2024年度	・大阪での展開策等の検討 ・他の医療機関との連携検討 ・医療現場での実証による効果検証やビジネス化支援	【実績】 - 複数の医療機関と連携し、病院内の課題をロボット技術等で解決する「優しい病院」プロジェクトを実施。病院のDX化をテーマに、医療現場での実証を2件支援 「女性医師活躍」をテーマにカンファレンス、共同開発提案、企業とのマッチングを実施 - 未来医療の推進を加速するため、未来医療推進機構(中之島Qross)と連携協定を締結 【気付き・課題】 - 社会的なテーマに連動した医療ニーズに注目することで、課題解決意欲のある異業種からの参入企業が増える  ◀女性医師活躍をテーマとした医工連携マッチング
2025年度	・融合領域におけるビジネス化 ・他の医療機関との連携開始	【内容】 「優しい病院」は、大阪医療センターをはじめ全国の国立病院機構や大阪けいさつ病院との連携を強化し、ロボット技術等を活用した新たな共同開発製品の実証を支援 - 未来医療推進機構と連携し、「未来医療」にかかる情報発信や海外連携事業などを実施 「女性医師活躍」については、現場ニーズを掘り起こし、多様な医療機関との連携を拡大 - 新たに、医療現場における「高齢者特有の課題解決」や「環境配慮の医療」のテーマにも着手 「災害医療」「救急医療」も継続実施 【スケジュール】 7月以降：医療機関と企業との共同開発案件の現場での実証や事業化支援

⑬ 評価指標

2023

2024

融合領域として
取り上げる
具体テーマ数

2テーマ

3テーマ

⑭ 評価指標

2023

2024

参加企業数
マッチング件数

83社

333社

3件

12件

2023

2024

実証件数
事業化件数

2件

2件

16件(支援中)

29件(支援中)

14

2. ウェルネスビジネス創出プロジェクト

※評価指標の数値は2024年12月末時点

⑬ 融合領域の拡大による新ビジネス創出支援

ライフサイエンス

スポーツ産業

⑪ ウェルネスビジネス創出支援

⑮ ウェルネスオフィス・プロジェクト

目的 日常生活空間を活用した健康増進ビジネスの開発支援 / 万博を活かした国内外への発信強化

主な取り組み			進捗・計画		
2023 年度	- ウェルネスオフィス・プロジェクトの立ち上げ - 大手企業等とのマッチング 「大阪ヘルスケアパビリオン」の出展準備として出展者募集、選考、展示企画を推進		【実績】 「未来のウェルネス実装ネットワーク」を開催 - 万博出展企業を募集し、12月に「未来のウェルネスピッチ」を開催、出展候補32者を決定		
2024 年度	- 関心企業による具体的な製品やサービス開発、実証支援 - 大阪での展開策等の検討 - 出展企画 - 出展準備、会場計画 - 出展予定者メンタリング - 大手企業等とのマッチングによる事業拡大支援		【実績】 - スマートヘルス分野の産業振興とスタートアップ支援を目指す「次世代スマートヘルススタートアップ創出事業」を大阪府から受託。支援スタートアップ100~150社程度の選定、スマートヘルスケア分野の製品やサービスを紹介するWEBサイトの立ち上げ、健康経営志向企業や保険組合等とのマッチングイベントを実施 - 大阪ヘルスケアパビリオンへの出展準備を実施 【気付き・課題】 「健康経営」に関心を持つ企業は多く、その具体取り組みを促すサービス提供が求められている		
2025 年度	- 取り組みテーマの拡充とチーム組成 - 融合領域におけるビジネス化 「大阪ヘルスケアパビリオン」出展 - 万博会場外の、大阪市内におけるショーケースの検討		【内容】 - 大阪府の委託事業実施を通じ、健康経営企業へのスマートヘルスサービスの導入実証を支援 - 取り組みを通じて、ヘルスケア分野のビジネス環境整備等に関する政策提言や規制緩和要望をとりまとめ 【スケジュール】 - 大阪ヘルスケアパビリオン出展の確実な実施 4月29日~5月12日：リボンチャレンジ出展「ウェルネスの未来を拓く「カラダの健康と美容」「ココロとアタマの健康」」 4月以降：企業参画型実証事業 6月：インテックス大阪で開催される国際展示会JAPAN HEALTHや、万博会場内のメッセ会場やFuture Life Expoでの展示		



▲ウェルネスオフィス・プロジェクトにおけるスタートアップ支援事業

⑪ 評価指標

2023

2024

参加企業数

734社

646件

実証件数

27件

48件

⑮ 評価指標

2023

2024

マッチング件数

578件

231件

事業化支援件数

37件

70件

応募案件数

66件

60件

2. ウェルネスビジネス創出プロジェクト

※評価指標の数値は2024年12月末時点

⑩ 多国間メドテックアクセラレーション事業

ライフサイエンス

目的

医療・ヘルスケア関連のスタートアップ・既存企業のグローバル市場展開支援と
そのための国際ネットワーク構築

主な取り組み		進捗・計画
2023年度	・メドテックアクセラレーションプログラム(医療系スタートアップの発掘、育成、既存企業の新事業展開支援)の実施	【実績】 ・豪州の医療系アクセラレーター「メドテックアクチュエーター」とともに、国内外の医療系スタートアップを発掘・育成する「ORIGIN」事業と、国内のスタートアップや大阪・関西の中堅・中小企業の海外展開を支援する「GLOBAL NAVIGATOR」事業を実施 ・メドテックアクチュエーターと連携協定を締結
2024年度	・日本、豪州、シンガポール、インドの4カ国の支援ネットワークの構築	【実績】 ・メドテックアクチュエーターが日本事務所を大阪に開設。両者が連携して、大阪がハブとなるグローバルなエコシステム構築をスタート ・「ORIGIN」事業に国内スタートアップ26社、「GLOBAL NAVIGATOR」事業に8社が参加 【気付き・課題】 ・国内のメドテック・ヘルステック分野のスタートアップのレベルが高まってきている ・国内参加者が増加しており、海外展開を支援するプログラムとして定着しつつある 
2025年度	・最終ピッチコンテストの大阪誘致	【内容】 ・豪州、シンガポール、インド、日本等、各国から選抜された医療・ヘルスケアスタートアップのピッチコンテスト決勝戦「ORIGIN Gala Final 2025」を大阪で初めて開催 ・海外5～6カ国と日本のスタートアップ両方を対象に日本市場における事業展開を支援するプログラム「グローバルナビゲータJAPAN」を実施。医療機関の課題把握やキーオピニオンリーダーとのネットワーク構築、薬事や保険制度に関するレクチャー、大手企業との個別マッチング等をトータルで提供し、日本でのビジネス展開を支援 【スケジュール】 ・6月～：全国を対象に、参加スタートアップ募集活動 ・9月後半：大阪市内で決勝戦を開催

◀メドテック
アクチュエーター
連携事業
スタートアップ
ピッチコンテスト
決勝戦

評価指標	2023	2024
参加企業数	23社	34社
支援件数	10件	11件
事業化・投資件数	1件	1件

2. ウェルネスビジネス創出プロジェクト

※評価指標の数値は2024年12月末時点

⑪ 医療機器ビジネスの途上国市場開拓支援

ライフサイエンス

目的 途上国を対象とした医療機器ビジネスの海外展開・販路開拓支援

主な取り組み		進捗・計画
2023年度	・JICA等と連携し、途上国を対象とした販路開拓の体制を検討・構築	【実績】 ・新たにモンゴルの現地医療関連企業、病院から課題を汲み取り、企業とのマッチングを開始
2024年度	・販路開拓や現地ニーズを反映した共同開発を支援	【実績】 ・JICAとの連携を継続実施。過去にマッチングした案件のフォロー実施。コートジボアール、カンボジア、サウジアラビア、バングラデシュ等で事業化実現 ・バングラデシュを対象に医療分野ビジネスマッチングセミナーを開催し、現地医療機関からニーズ発表。 【気付き・課題】 ・多様な企業が途上国展開に関心を持ち、複数国でビジネス展開する企業も出始めている
2025年度	・JICA等と連携し、他の途上国への取り組み拡大	【内容】 ・今後成長が見込まれるグローバルサウスや途上国の医療関連市場に対し、現地の医療機関の課題を提示してもらい、医療機器、設備、用具・用品、サービス等の開発や販路開拓をめざす日本企業の事業展開を、JICAやJETROの現地事務所とともに支援 ・日本アセアンビジネス促進プラットフォーム経由のニーズに対応するほか、これまでのマッチング案件をフォロー 【スケジュール】 ・年度後半～：具体事業の展開



バングラデシュのシップインターナショナルホスピタル

評価指標	2023	2024
マッチング件数	18件	10件
共同開発・事業化件数	18件	18件(支援中)
進出支援件数	7件	7件

3. 都市魅力再構築プロジェクト

※評価指標の数値は2024年12月末時点

⑱ 都市魅力の再構築

都市活性化

目的

万博に向けてまちづくりが進む大阪都心の魅力の再構築と国内外への効果的な発信 / 郷土愛と誇り「シビックプライド」の醸成に向けた取り組み推進

主な取り組み		進捗・計画
2023年度	- 万博開催時の魅力発信事業(シティエキシビジョン)の検討 「水と光のまちづくり推進会議」傘下団体の活動支援 「なにわなんでも大阪チャレンジ(仮称)」の検討・実施	【実績】 - 万博開催時のまちなかの取り組みを一体的に発信する仕組みを準備会で具体検討。実験事業「まちごと万博カーニバル」を開催 - 万博開催時の水上航路に関する説明会、夢洲と「水の回廊」を結ぶ特別クルーズを実施 - WEBクイズ「なにわなんでも大阪チャレンジ」を3回実施
	- 万博開催時の魅力発信事業(シティエキシビジョン)の準備 「なにわなんでも大阪チャレンジ」検証と改定	【実績】 「水と光のまちづくり推進会議」の会長団体として「水都大阪コンソーシアム」の活動(万博航路実証クルーズ実施等)や「大阪・光の饗宴実行委員会」による大阪・光の饗宴2024の実施等を支援 「大阪まちごと万博共創プラットフォーム(PF)」をスタートし、プロジェクト60件を登録。「大阪まちごと万博交流会」を開催し(のべ129人参加)、エリアを持つ団体とコンテンツを有する企業・団体との共創を促進。万博半年前のイベントを一体的に情報発信する「まちごと万博2024秋」を実施し、イベント22件をWEBサイトで一体的に発信。「まちごと万博決起集会」を(一社)demoexpoとPFで共催 (地独)大阪市博物館機構と共同でWEBクイズ「なにわなんでも大阪チャレンジ」を4回実施 【気付き・課題】 - 万博関連イベントのまちなか開催や他団体との交流、一体的な情報発信へのニーズが高い - WEBクイズでEXPO2025デジタルウォレットや大阪市公式SNSを活用したところ参加者が大幅に増え、全国37都道府県から参加があり、若年層の割合も高まった
2025年度	- 万博開催時の魅力発信事業(大阪まちごと万博共創プラットフォームでの情報発信)の実践、それ以降の推進検討 「なにわなんでも大阪チャレンジ」の継続実施 - モビリティを核としたスマートシティの検討	【内容】 「水都大阪コンソーシアム」や「大阪・光の饗宴実行委員会」の活動を継続支援 「大阪まちごと万博共創プラットフォーム」の運営を通じ、万博に関連したまちなかでのイベントを一体的に発信。万博のレガシーとなるよう、終了後の推進体制を検討 - WEBクイズ「なにわなんでも大阪チャレンジ」を継続実施(万博会期に連動、3回実施) - 新たに、モビリティを核に、企業や市民、生活施設等が参画し、利便性快適性の向上を図るスマートシティの形成を検討 【スケジュール】 4月～10月：まちごと万博のプロジェクト・イベントを一体的に発信。万博会期にあわせてWEBクイズ「なにわなんでも大阪チャレンジ」を実施

評価指標		2023	2024	評価指標		2023	2024
エリアマネジメント推進企業・団体等と連携した万博開催時の魅力発信事業(シティエキシビジョン)の活動実績		12件	60件	「なにわなんでも大阪チャレンジ」参加者数		のべ4,320人	のべ6,125人
「水と光のまちづくり推進会議」傘下団体の活動実績		27件	28件				

3. 都市魅力再構築プロジェクト

※評価指標の数値は2024年12月末時点

⑬ グレーターミナミの活性化

グレーターミナミ

目的 大阪府南部(泉州・南河内エリア)と大阪都心南部(難波、新今宮、阿倍野・天王寺・上本町エリア)の一体的な発展・活性化

主な取り組み		進捗・計画
2023年度	- グレーターミナミ連携会議の構成メンバーが取り組む産業振興や観光交流等具体的なプロジェクト支援、進捗・成果の広報 - グレーターミナミエリアの活性化につながる大商事業との連携強化 - 大阪都心南部の「グローバル育成協議会」の活動の広報支援	【実績】 - グレーターミナミ活性化シンポジウムを開催し、地域活性化プロジェクトの進捗・成果を紹介、163人が参加 - グレーターミナミ推進委員会を新設 - グローバル育成協議会において、外国人誘致・居住促進に向けた活動を支援
2024年度	- グレーターミナミエリアの魅力づくりの推進 - グレーターミナミにおける活性化プロジェクト組成に向けた支援 - グレーターミナミシティにおける取り組み - 安全安心のまちづくり	【実績】 - 遠北グレーターミナミ推進委員長がエリアの首長や商工会議所会頭を訪問し、「グレーターミナミ活性化に向けた調査・提言」の共有と各地の取組現況の把握を行い、意見交換 - グレーターミナミ推進委員を対象に、グレーターミナミの活性化に向けた具体的なプロジェクトの状況を調査 - グレーターミナミ活性化シンポジウム～地域を輝かせるブランディングとは」を読売新聞とともに岸和田市で開催し、約200人が参加。地域活性化プロジェクトの進捗・成果を紹介 「グローバル育成協議会」に参加し、外国人誘致・居住促進に向けた活動を支援 【気付き・課題】 - 地元自治体や商工会議所からは、地域活性化に向けてグレーターミナミ推進委員会と連携することに賛同する意見が多かった
2025年度	- グレーターミナミ地域のブランディングに資する活動の実施 - グレーターミナミシティにおける取り組み - 安全安心のまちづくり	【内容】 - 地元自治体や商工会議所、企業等と連携し、新たに、食・観光振興をテーマに地域のブランディングに資する活動を実施 「グローバル育成協議会」への参画、安全安心のまちづくりの推進 【スケジュール】 4～3月：グレーターミナミの商工会議所会報誌を活用し、「食体験」に関する情報を発信 7～10月頃：万博開催時に訪れる外国人を対象としたグレーターミナミモデルツアーを実施 9月頃：グレーターミナミの「食」の魅力を一体的に発信する企画列車を実施 1～2月頃：グレーターミナミ活性化シンポジウムを開催

評価指標	2023	2024
プロジェクト支援	6件	6件

3. 都市魅力再構築プロジェクト

※評価指標の数値は2024年12月末時点

⑳ 食のまち・大阪のブランド向上

食料

ツーリズム

目的 大阪の食の魅力引き上げと海外への効果的な情報発信による大阪の食ブランドの向上

主な取り組み		進捗・計画
2023年度	- シェフズアカデミーの開催 - ポップアップレストランの企画・実施 - 国内外への情報発信 - 大阪発の新たな食の基準づくりへの参画・活用方法検討	【実績】 - 通常廃棄される食材を活用することでフードロス問題を考えるイベント“HAJIKKO RESTAURANT”を大阪府環境農林水産総合研究所等と連携して新たに開催 - 大阪とバルセロナのシェフが共創や挑戦を図るコラボイベント”World Food Market series SPAIN”を開催。大阪が誇る上質な食と伝統芸能(文楽)を組み合わせたインバウンド向けツアーを試験的に実施
2024年度	- 海外シェフとのネットワーク構築 - 新たな食基準の、大阪の飲食店等へのPR - 万博の機会をとらえた食イベントの企画	【実績】 <万博メニューでおもてなし> - 飲食店が独自の万博メニューを紹介するプロジェクトをスタート - 説明会やSNS活用勉強会を通じてSNSを活用した集客と情報発信を支援。 - 万博メニューのエントリーは68件(2025年2月6日) <大阪まちごとバル> ①東横堀川・道修町(くすりのまち等)、②北加賀屋(アートスポット等)、③グレーターミナミ(泉佐野の海・山の魅力)、④大正区(水辺の魅力)の観光・飲食スポットを紹介するショート動画を計17本(2025年2月6日)制作、SNS投稿した。 【気付き・課題】 - 中小飲食事業者の万博に関わりたいとのニーズに合致した - 大商・観光局の拡散により幅広い層に情報を届けることが必要  SNS投稿動画のサムネイル
2025年度	「万博メニューでおもてなし」を通じた大阪の食の魅力発信と周遊促進 - 海外パビリオン併設レストランの名物料理紹介等、食を切り口にした万博来場促進	【内容】 - 万博メニューを引き続き募集・情報拡散し、万博来場者のまちなかでの食べ・飲み歩きを促進 - 新たに府内周遊につなげるため、SNS上での展開に加え、オフラインのPR活動(ポスター、ステッカー等)を強化 【スケジュール】 4～10月：万博メニュー募集・情報拡散 4月21日：大阪ヘルスケアパビリオン リボーンステージ催事(万博メニュー販売等)

評価指標	2023	2024
参加店舗数	16件	49件
参加者数	3,607人	74人
広報実績	57件	23件

3. 都市魅力再構築プロジェクト

※評価指標の数値は2024年12月末時点

②1 富裕層の戦略的誘致と滞在交流型観光の推進

ツーリズム

目的 大阪の観光魅力発信と受け入れ環境整備 / IR区域整備計画の認定を機とする観光関連ビジネスの拡大

	主な取り組み	進捗・計画
2023年度	「トラベルデザイナー」の育成検討 - 食やエンターテインメント・文化等、富裕層向け観光コンテンツ開発支援 - SNSを活用した大阪の観光魅力の募集、発信 「ツーリズムEXPOジャパン2023大阪・関西」出展支援	【実績】 「ツーリズムEXPOジャパン2023大阪・関西」に設けた特別ブースに企業9社が出展、販路拡大を支援 - 東京商工会議所と万博の機運醸成や広域周遊促進に連携して取り組む包括連携協定を締結 「#大阪ええやん知らんけどInstagram投稿キャンペーン」を実施し、7,304件の投稿を得て新たな観光魅力を発信
2024年度	「トラベルデザイナー」のオン・ザ・ジョブ・トレーニング(OJT)による育成支援 - IRビジネスに関するセミナー等の実施	【実績】 - 高付加価値化を目指し、観光コンテンツを保有する事業者を対象に、コンテンツを旅行商品として販売する際の基礎資料として使用する「タリフ」の作成・添削から、旅行会社等に向けたピッチまで一気通貫で支援する「観光『タリフ』作成&販路開拓まるごと支援実践講座」を開催。7社参加 - 大阪府・市IR推進局と連携し、IRビジネスセミナーを2回開催 【気付き・課題】 - 海外富裕層のニーズに精通したコーディネーターの指導により、新たな事業機会を発見できた
2025年度	万博開催時の観光魅力発信、高付加価値化	【内容】 2030年開業予定の大阪IRとの連携について、物品調達や周遊観光等、地元への経済波及をめざして具体策を検討 - まちごとバルプロジェクトと連動し、大阪の観光魅力をSNSで発信 【スケジュール】 4～10月：万博を視察する全国商工会議所に対する大阪の観光・食情報の提供 11月～：IR事業者との意見交換や海外IRの最新動向視察 等



講座の開催の様様

評価指標	2023	2024
観光コンテンツ事業化件数	3件	7件
広報実績	57件	0件
マッチング件数	208件	21件

3. 都市魅力再構築プロジェクト

※評価指標の数値は2024年12月末時点

② 商店街観光の振興

流通活性化

目的 商店街の振興・活性化、情報発信による国内外からの集客力強化

主な取り組み		進捗・計画
2023年度	- スマートフォン活用、地域観光資源活用等新たな観光振興事業の検討、実験実施 - 他地域の商店街観光の取り組みを紹介するセミナー、シンポジウム等の開催 「100円商店街」等の集客イベントの開催支援	【実績】 - グーグルマップへの登録支援を6商店街で実施 - 玉造日之出通南商店街と周辺神社が連携し、御朱印を提示すると商店街で特典が得られる取り組みを新たに実施 - ICT活用を促進する「商店街シンポジウム」を開催 「100円商店街」実施を15回支援
2024年度	商店街の観光振興に向けた事業の実施	【実績】 - 文の里商店街で「グーグルマップ活用セミナー」開催 - あべのベルタで「レトロビルフェスティバル」開催 - 商店街シンポジウム開催 100円商店街を6か所12回開催 - 開運商店街in玉造・鶴橋を継続実施 - 商店街内に期間限定で出店する「商店街ちょい売り商談会」を千林商店街でテスト実施 【気付き・課題】 「レトロビル商店街」はマスコミ取材が多く、情報発信に奏功 「商店街ちょい売り商談会」は実際の出店にも繋がり、他商店街でも実施ニーズあり  あべのベルタでの「レトロビルフェスティバル」
2025年度	万博開催にあわせた商店街時の魅力発信	【内容】 - 万博開催時にインバウンド観光客が商店街を楽しむ「商店街で朝食を」を、大阪市商店会総連盟とAirbnb Japan(民泊事業者)とともに実施 「商店街ちょい売り商談会」を本格実施、出店希望者と商店街関係者との商談機会を設定 「100円商店街」「開運商店街」「レトロビル商店街」等の事業実施 【スケジュール】 - 年度内に随時実施

評価指標	2023	2024
支援事業実施件数	17件	16件

4. まちなかりビングラボプロジェクト

※評価指標の数値は2024年12月末時点

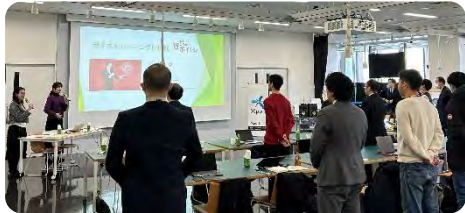
⑬リビングラボの推進

都市活性化

産業・スタートアップ

デジタル変革

目的 企業や住民等の参画による新たな価値やビジネスの創出

主な取り組み		進捗・計画
2023年度	「まちなかりビングラボ」構築の具体化に向けた検討、具体化 - 都心型オープンイノベーション拠点「Xport」におけるマッチング支援事業、人材育成プログラムの実施 「コモングラウンド・リビングラボ(CGLL)」における実証支援 「After2025デザインネットワーク」における万博後の取り組み検討、具体化	【実績】 - 新たに大阪公立大学や民間企業等とともに「大阪城東部地区イノベーション・フィールド・シティ具体化検討会 スマートモビリティ分科会」を設置し、検討を開始 - Xportでは、「会員情報交換会」等のネットワーキング・マッチング事業や、企業の課題に学生チームが解決提案する産学連携PBLプログラム「RDクラブ」等を実施。また、スタートアップの遠隔受付システムの実証実験を実施
2024年度	- 都心型オープンイノベーション拠点「Xport」におけるマッチング支援事業、人材育成プログラムの実施 「コモングラウンド・リビングラボ」における実証支援	【実績】 - Xportでは「RDクラブ」を実施、10社が参画 - スタートアップの発信力を強化するセミナーを開催 - CGLLはグッドデザイン賞を受賞、海外からの視察等のPR活動を強化 【気付き・課題】 - RDクラブは、企業のオープンイノベーション促進に加え、人材確保に役立っている(参加学生の採用に至る例もあり)  Xport「発信力強化セミナー」
2025年度	都心型オープンイノベーション拠点「Xport」におけるマッチング支援事業、人材育成プログラムの実施	【内容】 - コモングラウンド・リビングラボプラットフォームの万博会場での展開支援 - Xportの運営 【スケジュール】 - Xport事業は通年 - CGLLの万博会場での展開は期間限定(2025年9月30日～10月6日)

評価指標	2023	2024
参加企業・者数	8者(検討会) 45者(CGLL) 127社・人(Xport)	8者(検討会) 45者(CGLL) 106社・人(Xport)

4. まちなかりビングラボプロジェクト

※評価指標の数値は2024年12月末時点

②4 実証事業の推進

デジタル変革

目的 企業や住民等の参画による新たな価値やビジネスの創出

主な取り組み		進捗・計画
2023年度	「実証事業推進チーム大阪」による実証実験支援 - 実証フィールドの拡充、国内外へのPR	【実績】 大阪府・大阪市・民間企業等と連携した実証実験を支援
2024年度	「実証事業推進チーム大阪」による実証実験支援 - 都心シンボリックな空間での実証支援 - エリアマネジメント団体と連携した実証支援	【実績】 (独)都市再生機構とともに、大阪城東部地区((独)都市再生機構森之宮団地等)での実証実験を募集、18件のエントリーから12件を選定(調整出来た案件から実証) - 実証実験の受け入れに関心のある企業に対して「実証実験支援先見学会」を3回開催 - 大阪府・大阪市・民間企業等と連携した実証支援も実施 【気付き・課題】 - 大阪城東部地区((独)都市再生機構森之宮団地等)のように、市民(団地住民)を巻き込むことができる実証フィールドのニーズが高い
2025年度	- 都心シンボリックな空間での実証支援 - エリアマネジメント団体と連携した実証支援	【内容】 - 都心シンボリックな空間(特定フィールド)での実証支援を検討 「実証事業推進チーム大阪」での実証実験実施支援 - 大阪での実証実験実施を啓発するセミナーの開催 【スケジュール】 - 通年。ただし、特定フィールドでの実証実験は期間限定



11月 UR森之宮団地でドローン物流実証実験を実施

評価指標	2023	2024
実証支援件数	5件	実証事業推進チーム大阪で支援した実証実験：4件 大阪城東部地区で実施した実証実験：10件